

高病原性鳥インフルエンザが 大分県で発生！！

1月17日、大分県佐伯市の家きん飼養農場で高病原性鳥インフルエンザ(HPAI)の疑似患畜が確認されました。国内の農場や家きん飼養施設におけるHPAIの発生は、今シーズン60例目となり、大分県では初めての発生です。 また、野鳥で155例、飼養鳥で8例、HPAIウイルス陽性が確認されています(1月16日現在)。

鶏などの家きんを飼われている皆様には、野鳥の侵入防止、鶏舎及び衛生管理区域内の消毒など飼養衛生管理基準に基づく発生予防対策をお願いします。

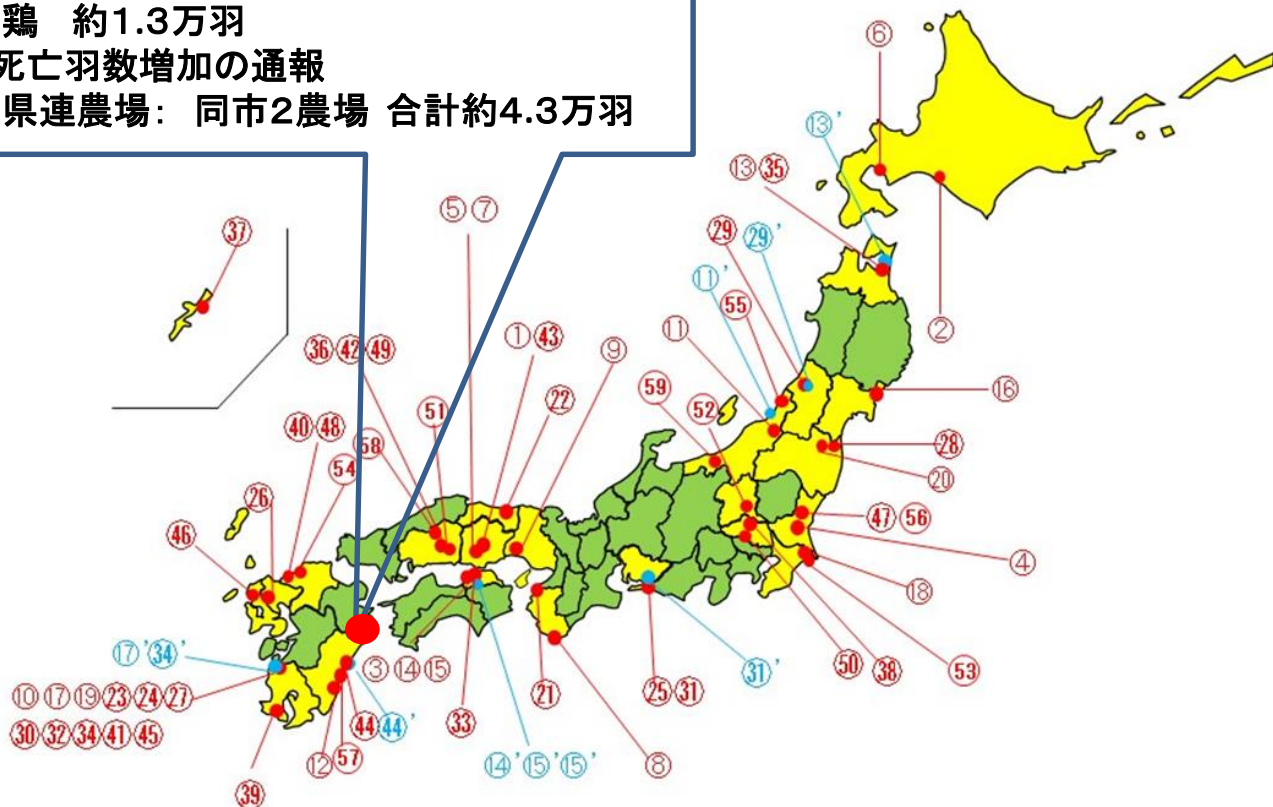
今シーズンのHPAI発生状況

大分県佐伯市

肉用鶏 約1.3万羽

※ 死亡羽数増加の通報

疫学県連農場： 同市2農場 合計約4.3万羽



京都府山城家畜保健衛生所 TEL:0774-52-2040(夜間・休日転送)
FAX:0774-52-2030